

よびビダラビン群にて差を認めなかったが、カルベジロール群は期間中、低値を示す傾向が認められた。また、三群共にペースング期間中の変動を認めなかった。

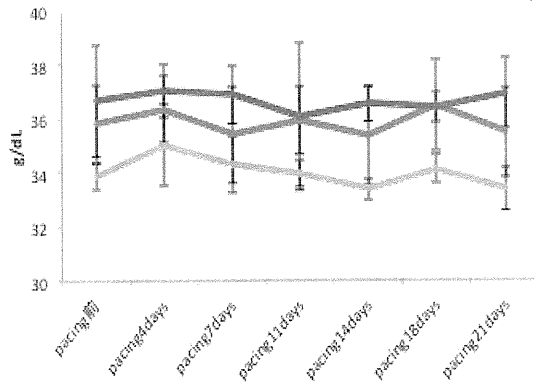


図10 ペースング21日目までの平均赤血球色素濃度の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

・血小板数(図11)

血小板数は3群間において差を認めなかった。また、三群共に、ペースング期間中の変動を認めなかった。

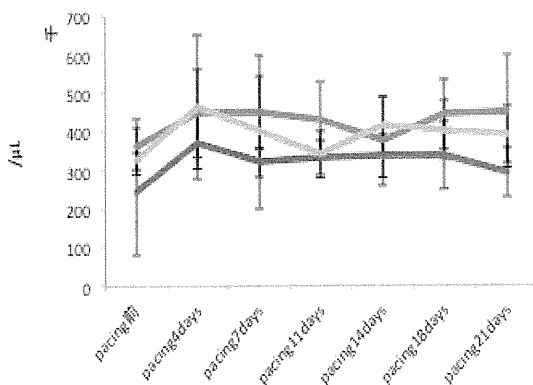


図11 ペースング21日目までの血小板数の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

・ALB(図12)

ALBは三群間において差を認めなかった。また、期間中、全ての群において低下傾向が認められた。

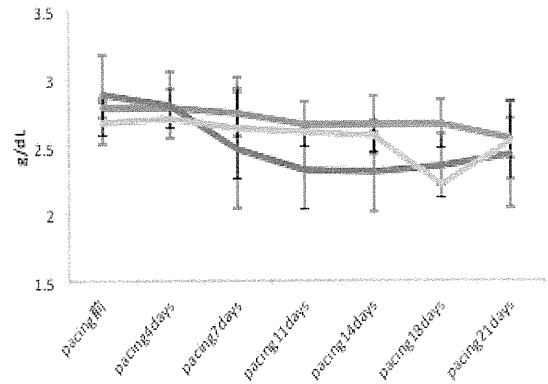


図12 ペースング21日目までのアルブミン(ALB)の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

・GLOB(図13)

GLOBはコントロール群とビダラビン群にて差を認めなかったものの、カルベジロール群は他の二群に比較して高値を示す傾向が認められた。また、全ての群において期間中、低下傾向が認められた。

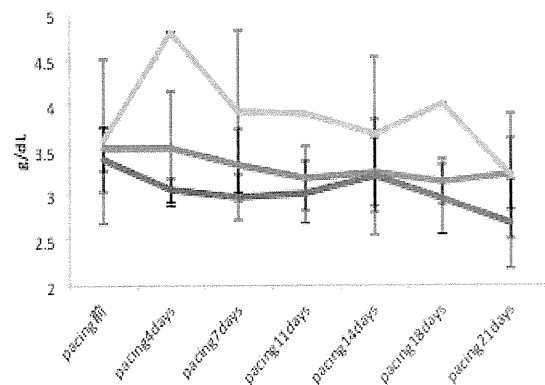


図13 ペースング21日目までのグロブリン(GLOB)の変動。青線：コントロール群、赤線：ビ

ダラビン群、緑線：カルベジロール群

・TP(図14)

TPは全ての群において差を認めなかった。また、全ての群において、ペーシング期間中、低下傾向が認められた。

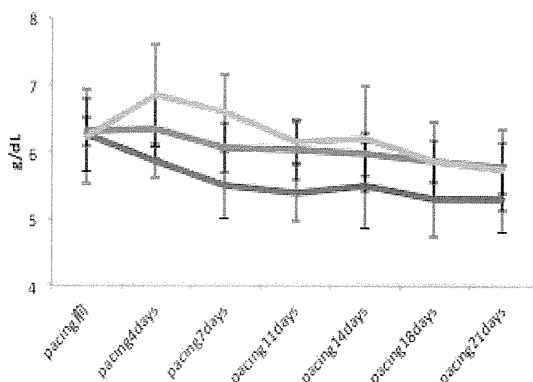


図14 ペーシング21日目までの総蛋白質(TP)の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

・ALT

ビダラビン群はコントロール群およびカルベジロール群に比較して期間中、高値を示す傾向が認められた。また、三群共に、ペーシング期間中の変動を認めなかった。

・AST

ビダラビン群はコントロール群およびカルベジロール群に比較して期間中、高値を示す傾向が認められた。また、三群共に、ペーシング期間中の変動を認めなかった。

・ALKP

カルベジロール群はコントロール群およびビダラビン群に比較して期間中、高値を示す傾

向が認められた。また、三群共に、ペーシング期間中の変動を認めなかった。

・T-CHOL(図15)

ビダラビン群はコントロール群に比較し、ペーシング期間中、低値を示す傾向が認められた。また、カルベジロール群はペーシング期間中低下傾向を示した。

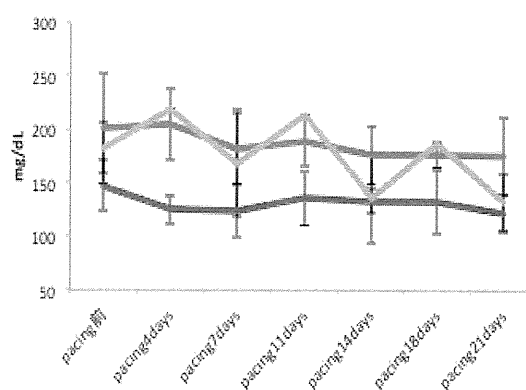


図15 ペーシング21日目までの総コレステロール(T-CHOL)の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

・GLU(図16)

GLUは全ての期間中、三群間にて差を認めなかった。また、三群共に、ペーシング期間中の変動を認めなかった。

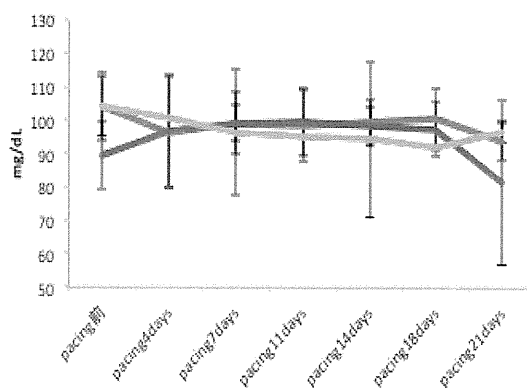


図16 ペーシング21日目までのグルコース (GLU)の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

・BUN(図17)

カルベジロール群はコントロール群およびビダラビン群に比較して低値を示す傾向が認められた。また、すべての群において、ペーシング期間中上昇傾向を認めた。

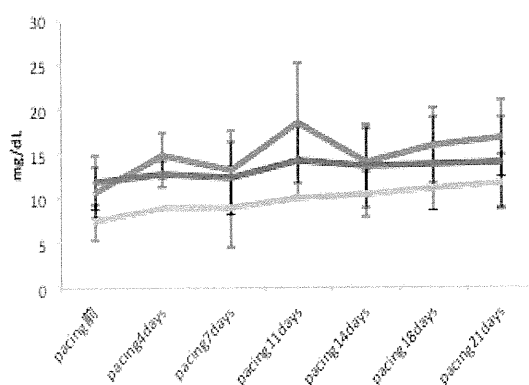


図17 ペーシング21日目までの血中尿素窒素 (BUN)の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

・CRE(図18)

CREは全ての期間中、三群間にて差を認めなかった。また、三群共に、ペーシング期間中の変動を認めなかった。

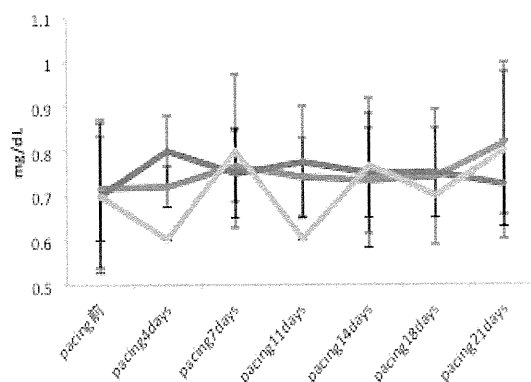


図18 ペーシング21日目までのクレアチニン (CRE)の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

・Ca(図19)

Caは全ての群においてペーシング期間中、低下傾向が認められた。また、ペーシング21日目において、カルベジロール群は他の二群に比較して低値を示す傾向が認められたが、その他の期間中において三群間に差を認めなかった。

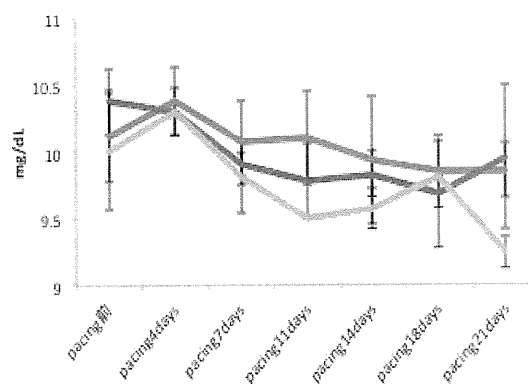


図19 ペーシング21日目までのカルシウム (Ca)の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

・P(図20)

Pは三群間において差を認めなかった。また、三群共に、ペーシング期間中の変動を認めな

った。

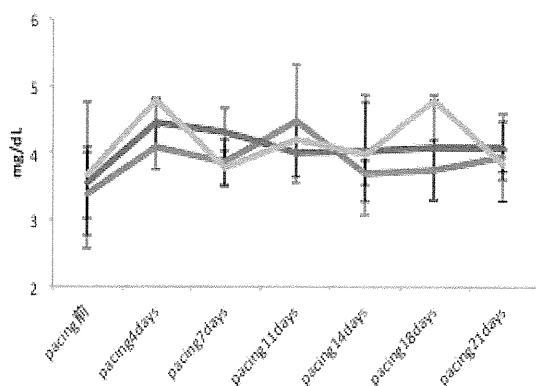


図20 ペーシング21日目までのリン(P)の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

・CRP (図21)

カルベジロール群は期間中、コントロール群およびビダラビン群に比較して高値を示した。カルベジロール群はペーシング11日目まで上昇し、その後ペーシング21日目まで低下する傾向が認められたものの、他の二群においては、ペーシング期間中の変動を認めなかった。

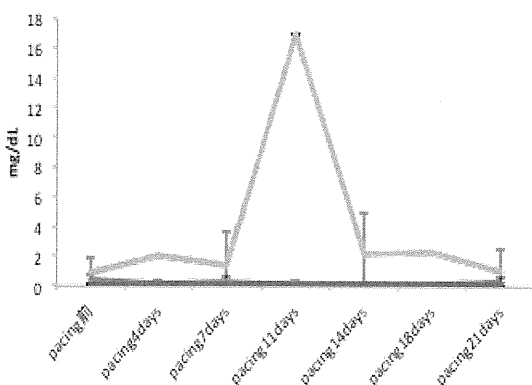


図21 ペーシング21日目までのC反応性蛋白質(CRP)の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

・Na (図22)

Naは全ての期間中、三群間にて差を認めなかった。また、三群共に上昇傾向を示した。

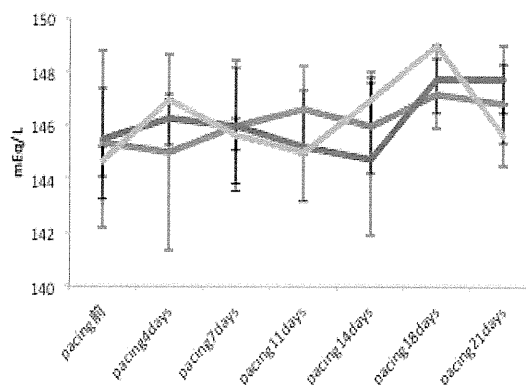


図22 ペーシング21日目までのナトリウム(Na)の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

・K (図23)

Kは全ての期間中、三群間にて差を認めなかった。また、三群共に、ペーシング期間中の変動を認めなかった。

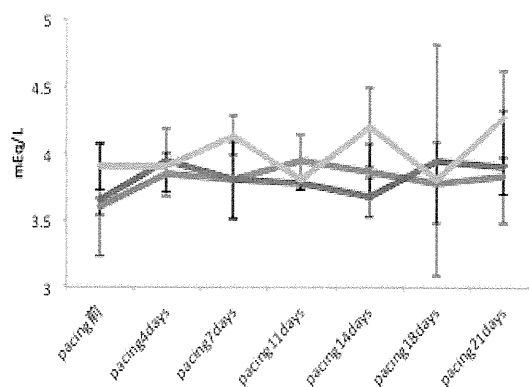


図23 ペーシング21日目までのカリウム(K)の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

・Cl (図24)

C1は全ての期間中、三群間に差を認めなかった。また、三群共に、ペーシング期間中の変動を認めなかった。

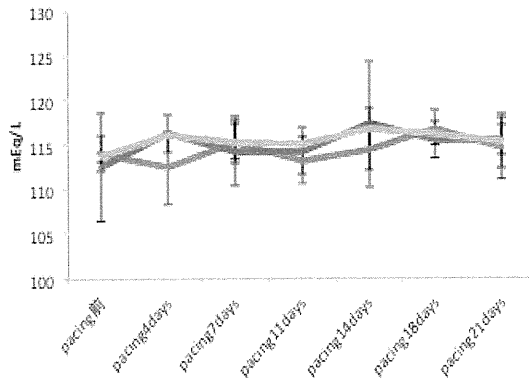


図24 ペーシング21日目までのクロール(C1)の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

2. 心不全モデル犬作製までのANPおよび血中ノルアドレナリン濃度の変動

ANPおよび血中ノルアドレナリン濃度ともにペーシング21日目にてペーシング前に比較して全ての群において高値を示す傾向が認められた。しかし、ペーシング21日目においてANPはカルベジロール群が他の群に比較して高値を示す傾向が認められ、ノルアドレナリンはコントロール群において他の群に比較して低値を示す傾向が認められた。

3. 心不全モデル犬作製までの心電図検査の変動

ペーシング21日までに心電図上において不整脈は認められなかった。P波(図25)、Q波(図26)、R波(図27)、S波(図28)、T波(図29)は3群間においてペーシング21日までに変化を認めなかった。また、PR間隔(図30)は期間中、コント

ロール群において他の2群に比較して高値を示す傾向が認められた。QRS間隔(図31)、QT間隔(図32)、QTc(図33)においては3群間に差を認めなかった。

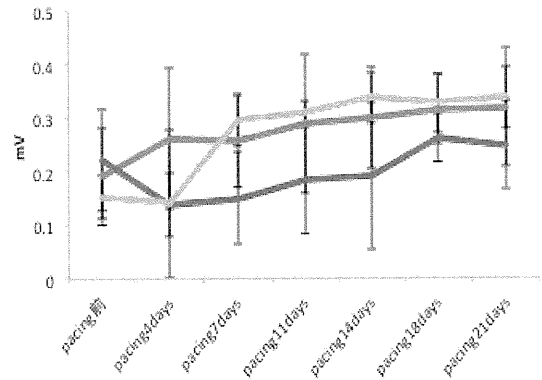


図25 ペーシング21日目までのP波の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

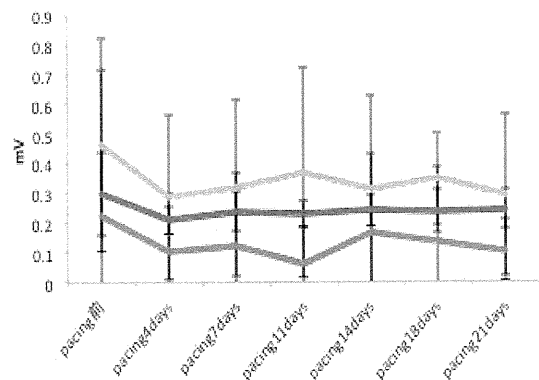


図26 ペーシング21日目までのQ波の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

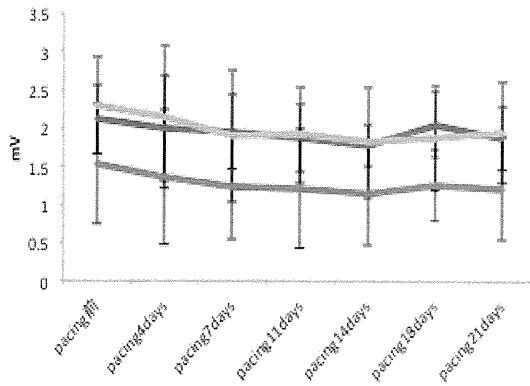


図27 ペーシング21日目までのR波の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

線：カルベジロール群

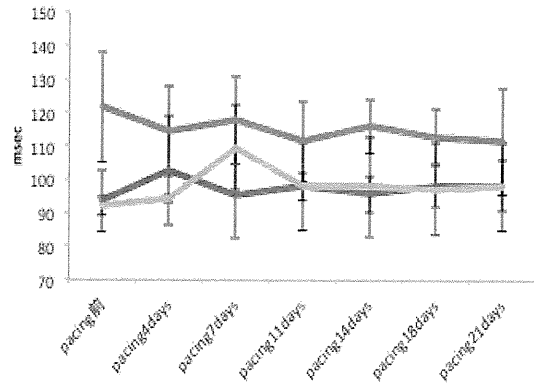


図30 ペーシング21日目までのPR間隔の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

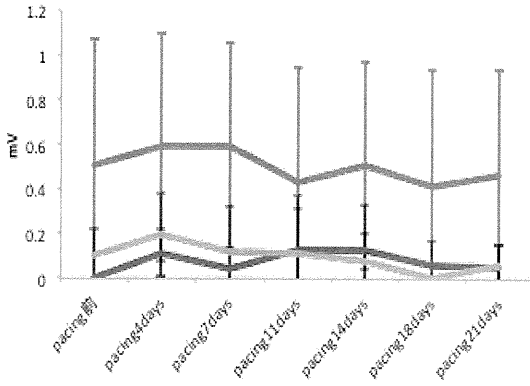


図28 ペーシング21日目までのS波の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

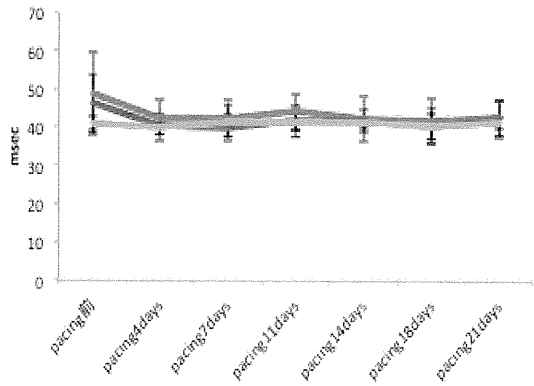


図31 ペーシング21日目までのQRS間隔の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

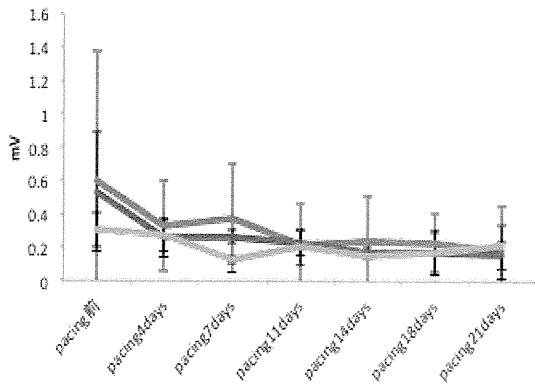


図29 ペーシング21日目までのT波の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

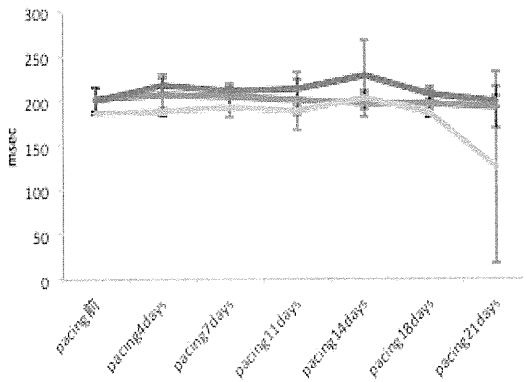


図32 ペーシング21日目までのQT間隔の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

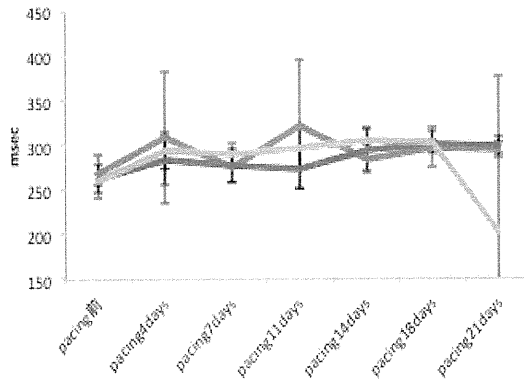


図33 ペーシング21日目までのQTcの変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

4. 心不全モデル犬作製までの収縮期、平均、拡張期血圧の変動

オシロメトリック法による血圧は、収縮期、平均、拡張期全てにおいてペーシング前に比較してペーシング21日目にて3群共に減少が認められた。また、ペーシング期間中、三群間に差を認めなかった。

5. 心不全モデル犬作製までの胸部X線検査の変動

胸部X線検査によるVHS、CTR(図34)において両群共にペーシング前に比較してペーシング21日目に増加傾向が認められた。また、VHS、CTR共に三群間に差は認められなかった。

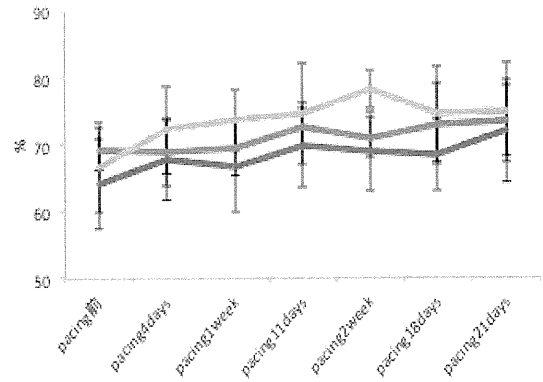


図34 ペーシング21日目までの心胸郭比(CTR)の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑色：カルベジロール群

6. 心不全モデル犬作製までの心臓超音波検査の変動

ペーシング前に比較してペーシング3週間目において、全ての群にてLVIDD、LVIDDs、LA/Aoの増加およびFS、IVSTs(図35)、LVPWTs(図36)、肺動脈流速(図37)、大動脈流速(図38)、SV(図39)、CO(図40)の減少が認められた。一方、IVSTd(図41)、LVPWTd(図42)においては変化を認めなかった。また、三群間において全ての評価項目に差を認めなかった。

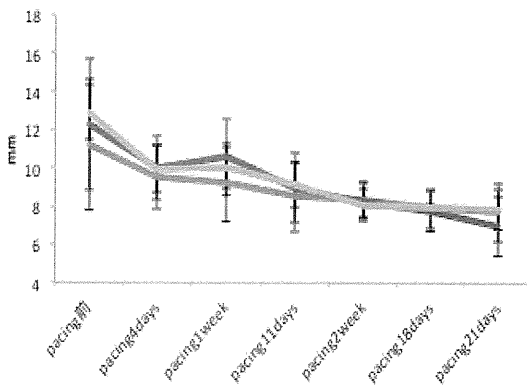


図35 ペーシング21日目までの収縮期室中隔壁厚 (IVSTs) の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

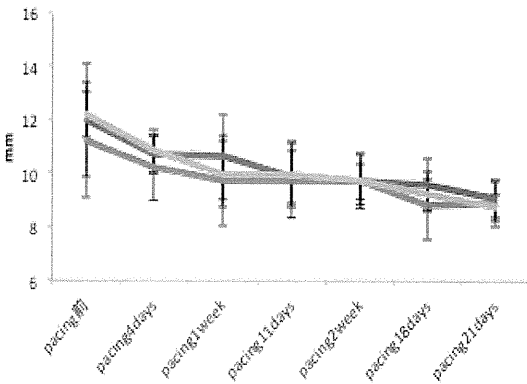


図36 ペーシング21日目までの収縮期左室自由壁厚 (LVPWTs) の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

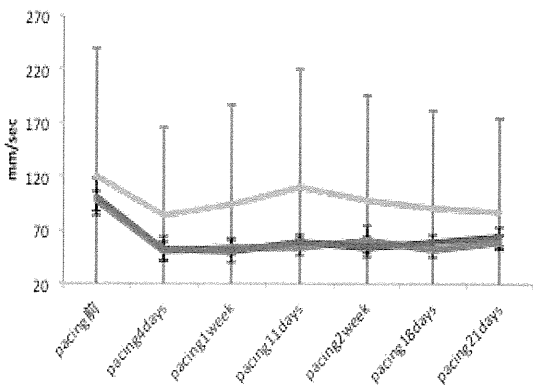


図37 ペーシング21日目までの肺動脈流速の

変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

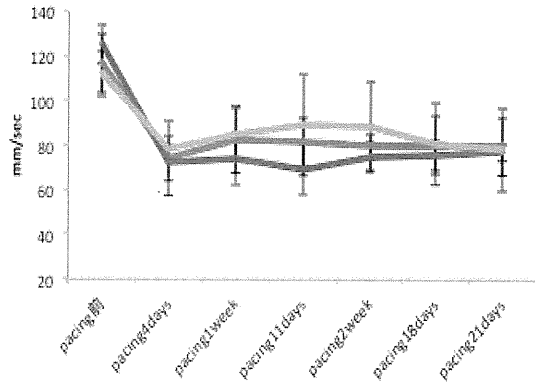


図38 ペーシング21日目までの大動脈流速の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

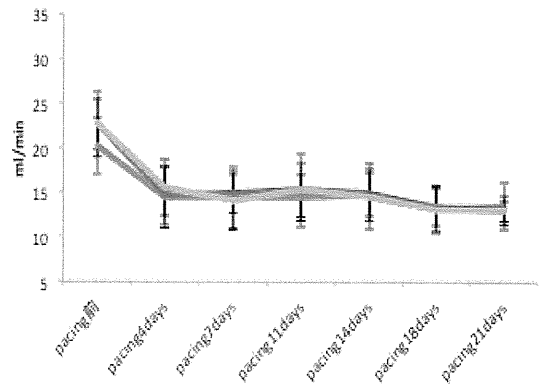


図39 ペーシング21日目までの1回拍出量 (SV) の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

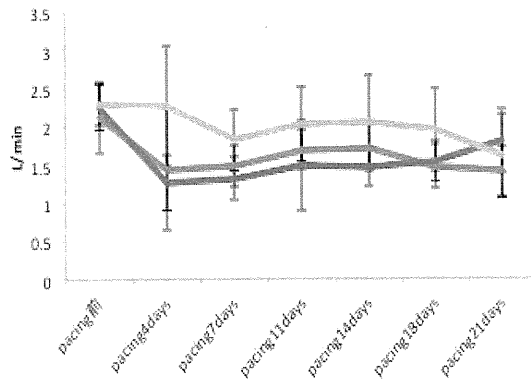


図40 ペーシング21日目までの心拍出量(CO)の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

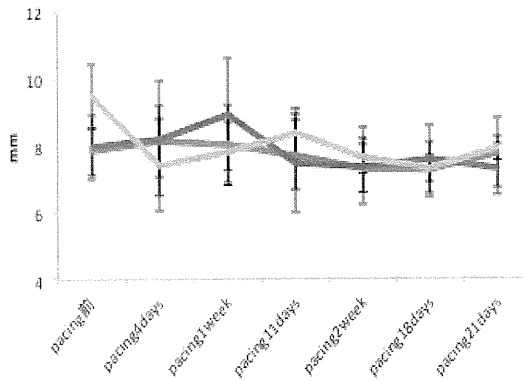


図41 ペーシング21日目までの拡張期心室中隔壁厚(IVSTd)の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

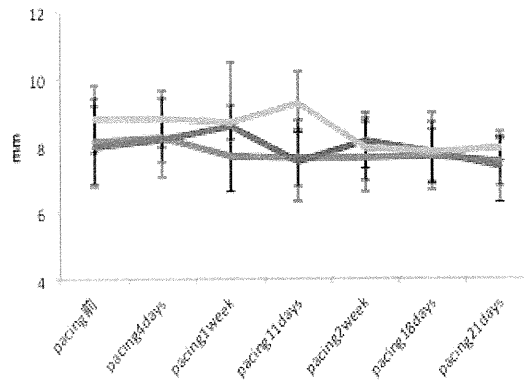


図42 ペーシング21日目までの拡張期左室自

由壁厚(LVPWTd)の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

7. 心不全モデル犬作製までのイソプロテノールに対する反応性

ペーシング前およびペーシング21日目において、全ての群にてイソプロテノールの用量に依存的に心拍数およびFSの上昇が認められた。また、ペーシング前においてはイソプロテノールの用量依存的な収縮期血圧の低下が認められたが、ペーシング21日目においては収縮期血圧の一定した傾向は認められなかった。また、ペーシング前およびペーシング21日目ともに心拍数はカルベジロール群において他の二群に比較して高値を示す傾向が認められた。また、ペーシング21日目の収縮期血圧においてはカルベジロール群において他の二群に比較して高値を示す傾向が認められた。一方、ペーシング前およびペーシング3週間後のFSおよびペーシング前の収縮期血圧において全ての群間に差を認めなかった。

8. 投薬後におけるCBCの変動

・白血球数(図43)

カルベジロール群は投薬前より投薬10日目まで、ビダラビン群は投薬10日目においてコントロール群に比較して高値を示す傾向が認められた。

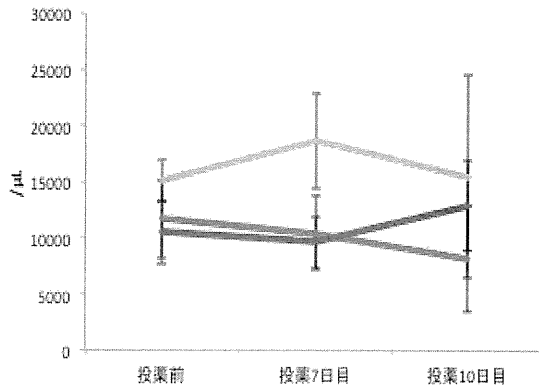


図43 投薬後の白血球数の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

・赤血球数(図44)

ビダラビン群は他の二群に比較して投薬7日目および投薬10日目にて低値を示す傾向が認められた。また、三群共に経時的に赤血球数が低下する傾向が認められた。

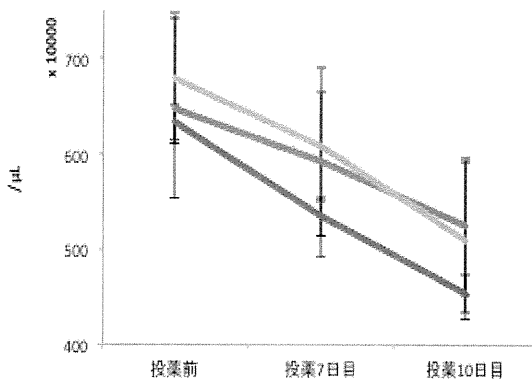


図44 投薬後の赤血球数の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

・ヘモグロビン濃度(図45)

ビダラビン群、カルベジロール群共に投薬10日目においてコントロール群に比較して低値を示した。また、三群共に経時的に低下する傾向が認められた。

向が認められた。

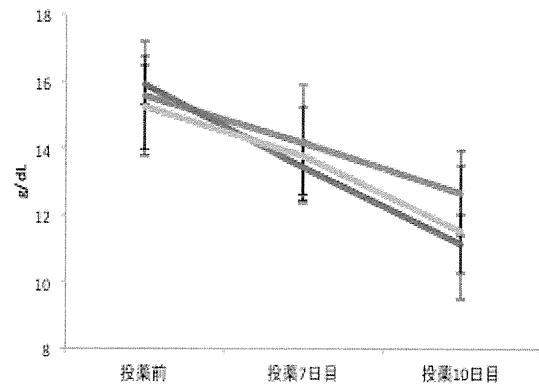


図45 投薬後のヘモグロビン濃度の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

・ヘマトクリット値(図46)

ヘマトクリット値は投薬期間中、三群間に差を認めなかった。また、三群共に経時的に低下する傾向が認められた。

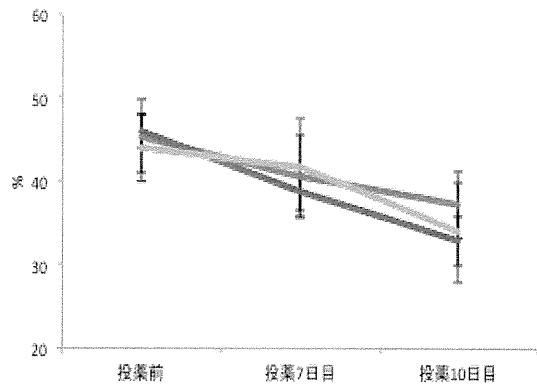


図46 投薬後のヘマトクリット値の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

・平均赤血球容積(図47)

平均赤血球容積は投薬期間中、三群間に差を認めなかった。また、三群共に経時的に上昇す

る傾向が認められた。

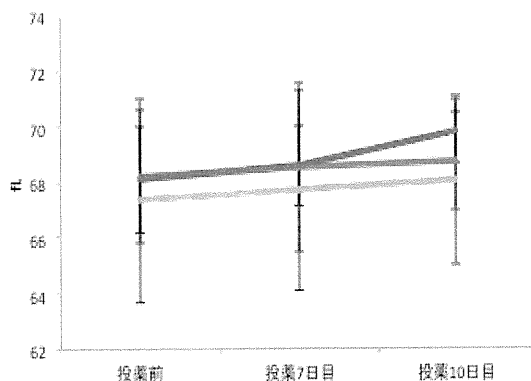


図47 投薬後の平均赤血球容積の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

・平均赤血球色素量(図48)

カルベジロール群は投薬前および投薬期間中、他の二群に比較して低値を示す傾向が認められた。また、ビダラビン群は投薬前および投薬7日目においてコントロール群に比較して高値を示す傾向が認められた。

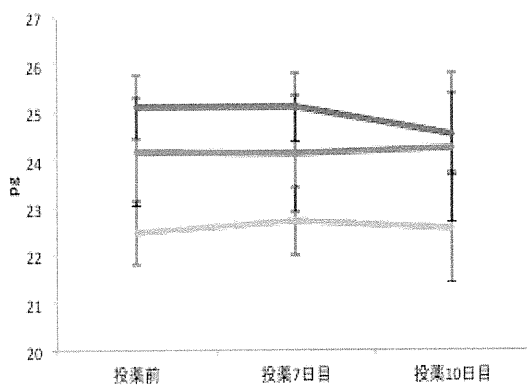


図48 投薬後の平均赤血球色素量の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

・平均赤血球色素濃度(図49)

カルベジロール群は投薬前および投薬期間中、他の二群に比較して低値を示す傾向が認められた。また、ビダラビン群は投薬前および投薬7日目においてコントロール群に比較して高値を示す傾向が認められた。

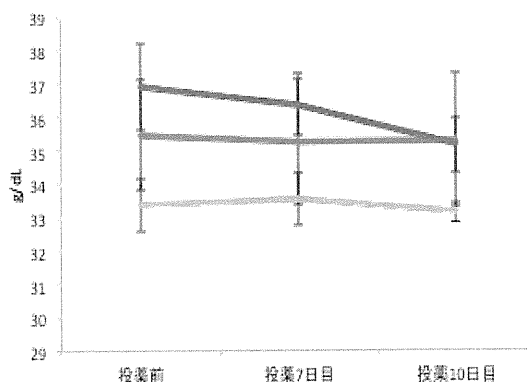


図49 投薬後の平均赤血球色素濃度の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

・血小板数(図50)

ビダラビン群は投薬前および投薬期間中、他の二群に比較して低値を示す傾向が認められた。また、三群共に投薬前に比較して投薬10日目にて低値を示す傾向が認められた。

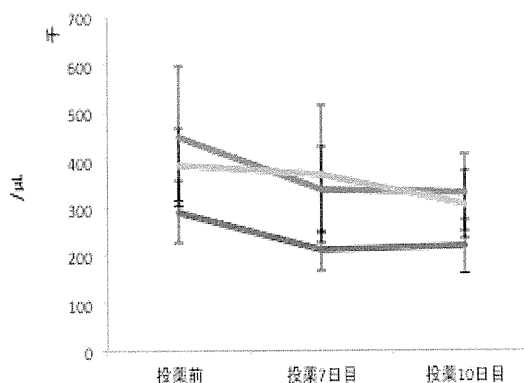


図50 投薬後の血小板数の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベ

ジロール群

9. 投薬後における血液生化学検査の変動

・ALB(図51)

三群間において、投薬期間中に差を認めなかった。また、投薬期間中、三群共に変動を認めなかった。

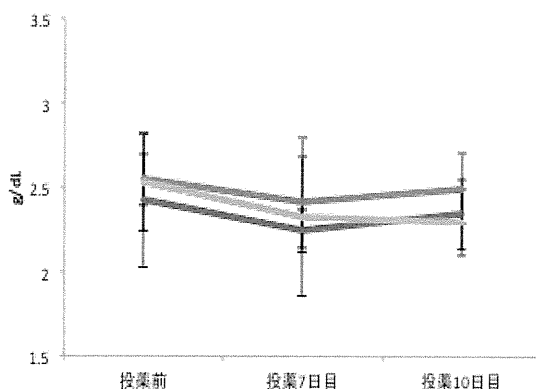


図51 投薬後のアルブミン(ALB)の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

・GLOB(図52)

ビダラビン群およびカルベジロール群は投薬期間中、経時的にGLOBが上昇する傾向が認められ、投薬10日目においてコントロール群に比較して高値を示す傾向が認められた。一方、コントロール群は投薬期間中低下傾向を示す傾向が認められた。

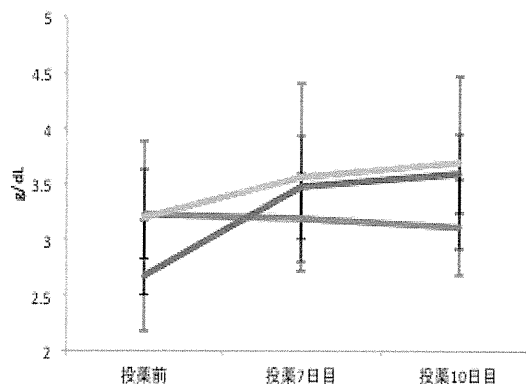


図52 投薬後のグロブリン(GLOB)の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

・TP(図53)

投薬期間中、三群間にて差を認めなかった。また、ビダラビン群およびカルベジロール群は投薬期間中上昇する傾向が認められたが、コントロール群においては低下する傾向が認められた。

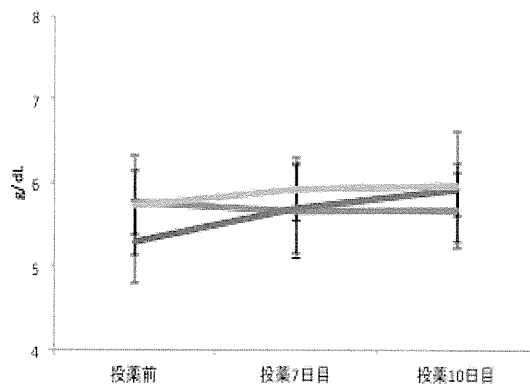


図53 投薬後の総蛋白質(TP)の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

・ALT

ビダラビン群は投薬7日目において、他の二群に比較して低値を示す傾向が認められた。ま

た、投薬10日目においてビダラビン群およびカルベジロール群はコントロール群に比較して低値を示す傾向が認められた。

・AST

ビダラビン群およびカルベジロール群は投薬7日目および10日目においてコントロール群に比較して低値を示す傾向が認められた。

・ALKP

ビダラビン群およびカルベジロール群は投薬7日目および10日目においてコントロール群に比較して高値を示す傾向が認められた。

・GLU(図54)

カルベジロール群は投薬7日から10日にかけて上昇する傾向が認められ、投薬10日目に他の二群に比較して高値を示す傾向が認められた。また、三群共に投薬前に比較して投薬10日目において高値を示す傾向が認められた。

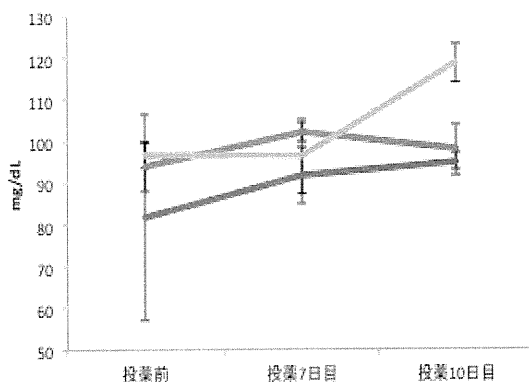


図54 投薬後のグルコース (GLU) の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

・T-CHOL(図55)

ビダラビン群は投薬7日目において他の二群に比較して低値を示す傾向が認められたものの、投薬10日目においては三群間に差を認めなかった。

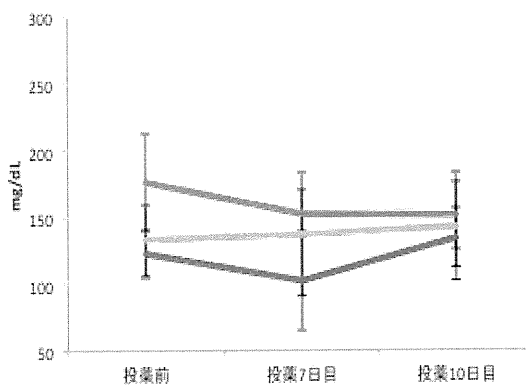


図55 投薬後の総コレステロール(CHOL)の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

・BUN(図56)

コントロール群およびカルベジロール群は投薬期間中、経時的にBUNの減少を認めた。また、ビダラビン群は投薬7日目から10日目においてBUNの減少を認めた。また、投薬7日目においてカルベジロール群は他の二群に比較して低値を示す傾向が認められ、投薬10日目においてビダラビン群およびカルベジロール群にてコントロール群に比較して低値を示す傾向が認められた。

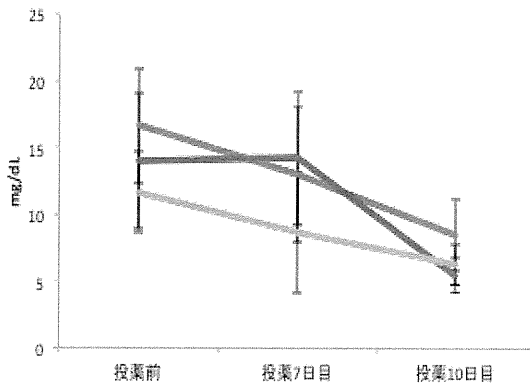


図56 投薬後の血中尿素窒素(BUN)の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

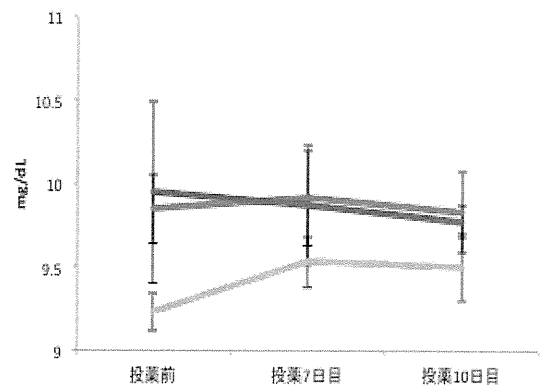


図58 投薬後のカルシウム(Ca)の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

・ CRE (図57)

CREは三群間において差を認めなかった。また、投薬期間中、三群共に変動を示さなかった。

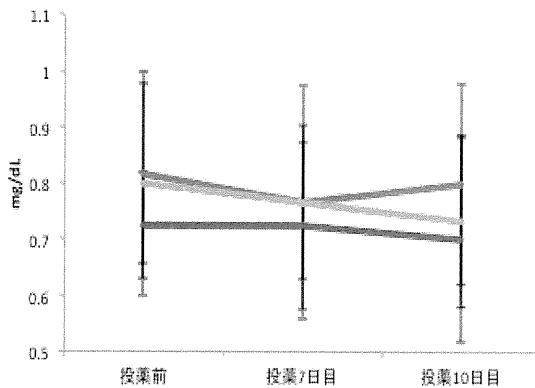


図57 投薬後のクレアチニン(CRE)の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

・ Ca (図58)

投薬前および投薬7日目、10日目においてカルベジロール群は他の二群に比較して低値を示す傾向が認められた。

・ P (図59)

ビダラビン群は投薬7日目において投薬前に比較して上昇し、他の二群に比較して高値を示したものの、投薬10日目には低下し、投薬前よりも低値を示す傾向が認められた。また、カルベジロール群は投薬10日目において他の二群に比較して高値を示す傾向が認められた。

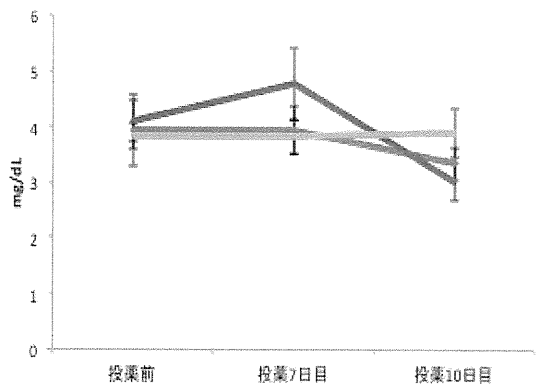


図59 投薬後のリン(P)の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

・ Na (図60)

ビダラビン群は投薬前に比較して、投薬7日

目において上昇し、他の二群に比較して高値を示したものの、投薬10日目には低下し、投薬前に比較して低値を示す傾向が認められた。また、投薬10日目において、三群間に差を認めなかった。

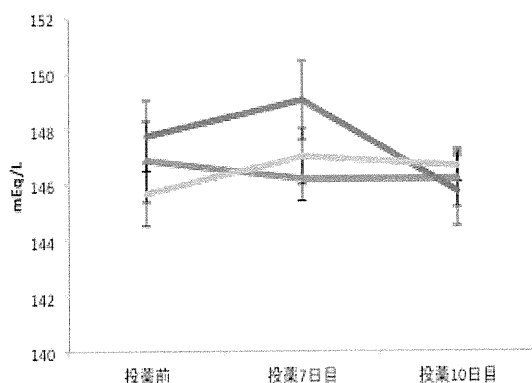


図60 投薬後のナトリウム(Na)の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

・K(図61)

カルベジロール群は投薬前、投薬7および10日目において他の二群に比較して高値を示す傾向が認められた。ビダラビン群は投薬7日目までにKの上昇を認め、コントロール群に比較しても高値を示す傾向が認められた。また、ビダラビン群は投薬7から10日目に減少する傾向が認められ、投薬10日目にて投薬前に比較して低値を示す傾向が認められた。また、投薬10日目においてビダラビン群はコントロール群に比較して低値を示す傾向が認められた。

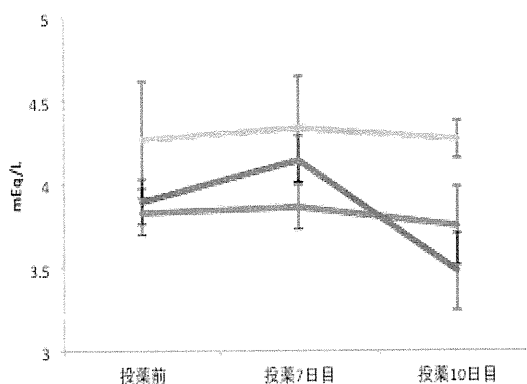


図61 投薬後のカリウム(K)の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

・Cl(図62)

Clは投薬期間中、三群間に差を認めなかった。また、三群間に投薬期間中、変動を認めなかった。

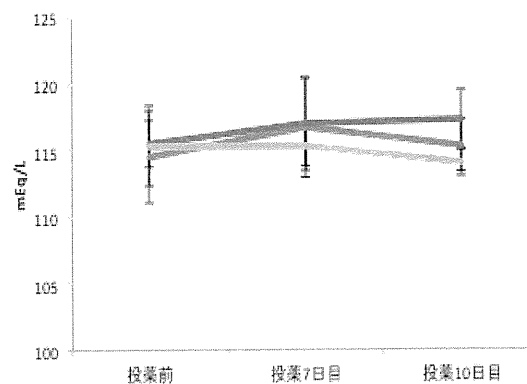


図62 投薬後のクロール(Cl)の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

・CRP(図63)

ビダラビン群、カルベジロール群は投薬7日目までCRPの上昇が認められ、コントロール群に比較して高値を示す傾向が認められた。また、ビダラビン群は投薬10日目においてもCRPの上

昇が認められたが、カルベジロール群は低下を認めた。投薬10日目におけるビダラビン群のCRPは他の二群に比較して高値を示す傾向が認められた。

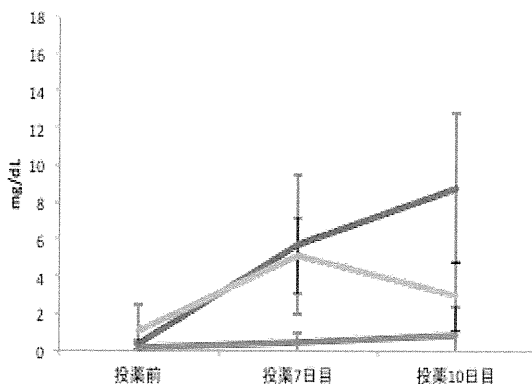


図63 投薬後のC反応性蛋白質(CRP)の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

10. 投薬後におけるANPおよび血中ノルアドレナリンの変動

ANP、血中ノルアドレナリン共にカルベジロール群は投薬前および投薬7日目において他の二群に比較して高値を示す傾向が認められたものの、投薬10日目においては三群間に差を認めなかった。また、コントロール群およびビダラビン群間に差を認めなかった。

11. 投薬後における心電図検査の変動

投薬期間中、三群共に不整脈は認められなかった。

・P波(図64)

投薬前および投薬中、三群間に差を認めなかった。また、カルベジロール群は投薬期間中低下する傾向が認められたが、他の二群に変動は認めなかった。

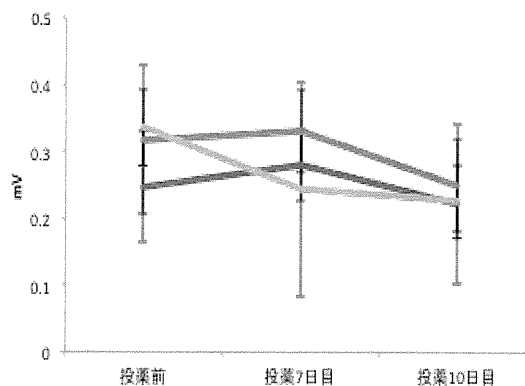


図64 投薬後のP波の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

・Q波(図65)

ビダラビン群およびカルベジロール群はコントロール群に比較して投薬前および投薬中、高値を示す傾向が認められた。また、カルベジロール群は投薬期間中、上昇する傾向が認められたが、他の二群において変動を認めなかった。

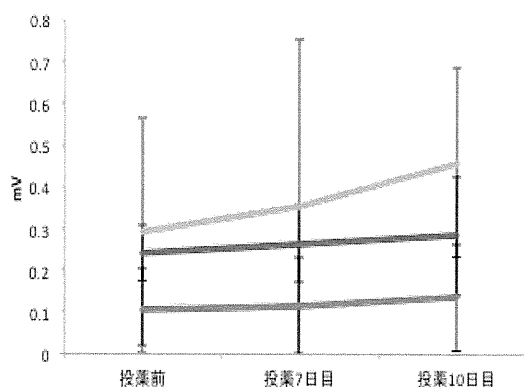


図65 投薬後のQ波の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

・R波(図66)

ビダラビン群およびカルベジロール群はコ

ントロール群に比較して投薬前および投薬中、高値を示す傾向が認められた。また、三群共に、投薬期間中、変動を認めなかった。

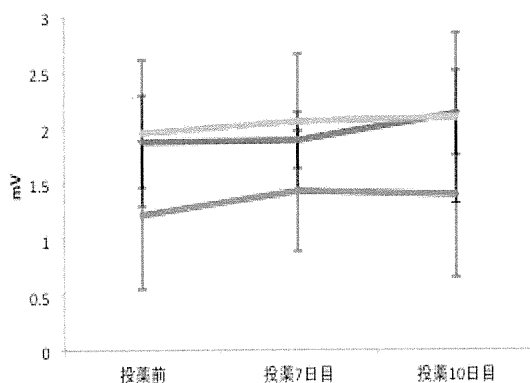


図66 投薬後のR波の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

・S波(図67)

コントロール群は投薬前および投薬中において他の二群に比較して高値を示す傾向が認められた。

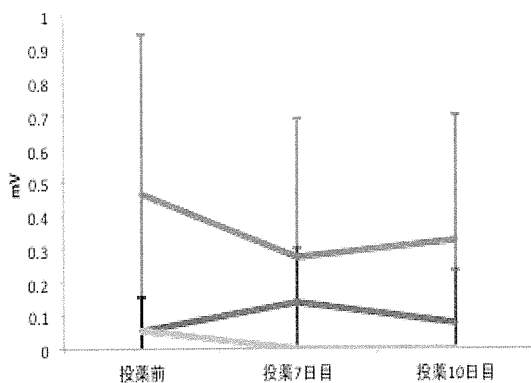


図67 投薬後のS波の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

・T波(図68)

投薬前および投薬中、三群間に差を認めなかった。また、三群共に投薬10日目において投薬前に比較して高値を示す傾向が認められた。

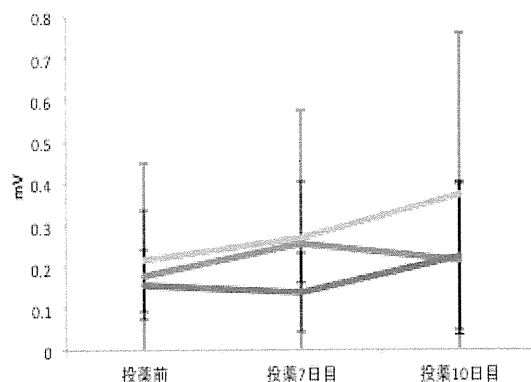


図68 投薬後のT波の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

・PR間隔(図69)

投薬前および投薬中、三群間に差を認めなかった。また、カルベジロール群は投薬10日目において投薬前に比較して高値を示す傾向が認められたが、他の二群に投薬期間中の変動を認めなかった。

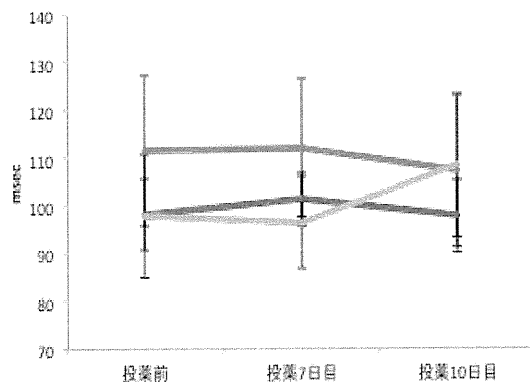


図69 投薬後のPR間隔の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

・QRS間隔(図70)

投薬前および投薬中、三群間に差を認めなかった。また、投薬期間中、三群共に変動を認めなかった。

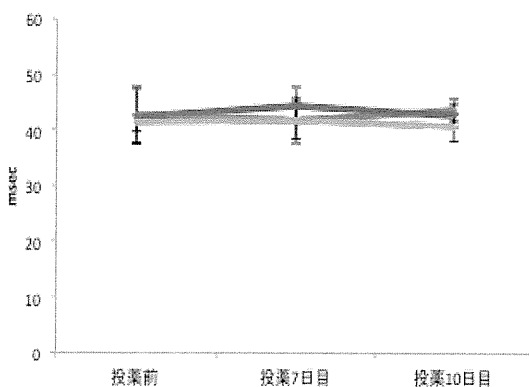


図70 投薬後のQRS間隔の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラピン群、緑線：カルベジロール群

・QT間隔(図71)

投薬前および投薬中、三群間に差を認めなかった。また、三群共に、投薬10日目において投薬前に比較して高値を示す傾向が認められた。

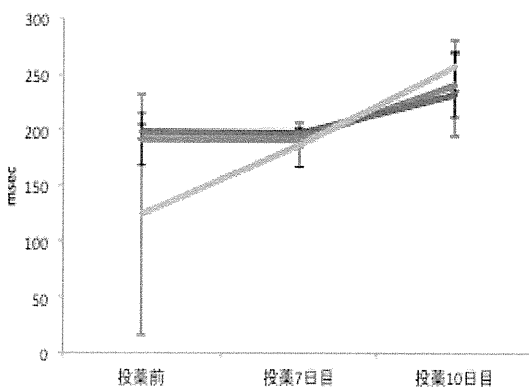


図71 投薬後のQT間隔の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラピン群、緑線：カルベジロール群

・QTc(図72)

投薬前および投薬中、三群間に差を認めなかった。また、カルベジロール群において投薬期間中、経時的に上昇する傾向が認められたが、他の二群に変動を認めなかった。

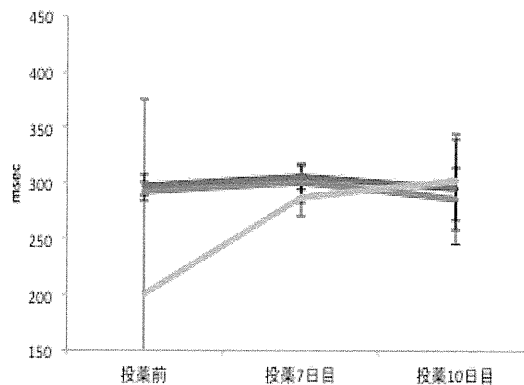


図72 投薬後のQTcの変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラピン群、緑線：カルベジロール群

12. 投薬後における収縮期、平均、拡張期血圧の変動

オシロメトリック法による血圧測定においては収縮期、平均、拡張期共に投薬前および投薬期間中、三群間にて差を認めなかった。

13. 投薬後における胸部X線検査の変動

投薬前および投薬期間中、三群間においてV HSおよびCTR(図73)共に、差を認めなかった。

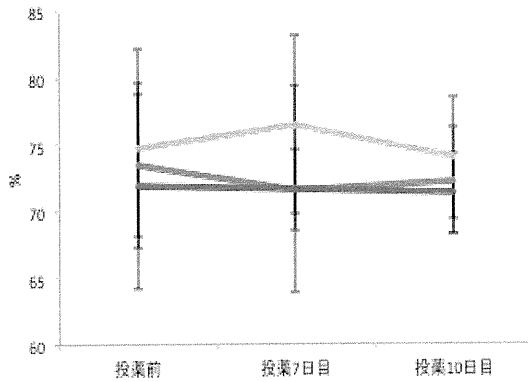


図73 投薬後の心胸郭比(CTR)の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

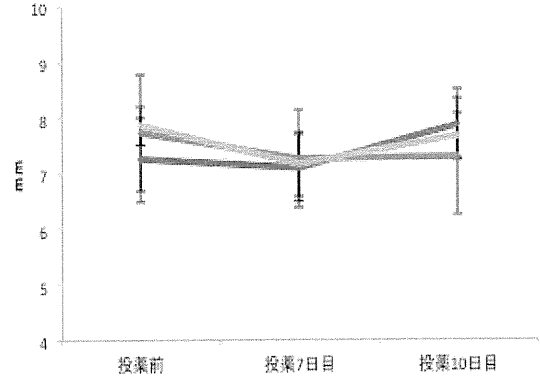


図74 投薬後の拡張期心室中隔壁厚(IVSTd)の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

14. 投薬後における心臓超音波検査の変動

LVIDd、LVIDsは投薬期間中、三群間において差を認めなかった。LA/Aoは投薬7日目において、ビダラビン群にて他の二群に比較して低値を示す傾向が認められたが、投薬10日目では両群にて差を認めなかった。また、カルベジロール群は投薬前および投薬期間中、他の二群に比較して高値を示す傾向が認められた。一方、FSは投薬7日目および10日目においてビダラビン群およびカルベジロール群にて、コントロール群に比較して高値を示す傾向が認められた。IVSTd(図74)、IVSTs(図75)、LVPWTd(図76)、LVPWTs(図77)、肺動脈流速(図78)、大動脈流速(図79)においては三群間にて差を認めなかった。SV(図80)は投薬7日目および10日目において、ビダラビン群およびカルベジロール群にてコントロール群に比較して高値を示す傾向が認められた。CO(図81)は、投薬7日目においてビダラビン群およびカルベジロール群にて、投薬10日目においてビダラビン群にてコントロール群に比較して高値を示す傾向が認められた。

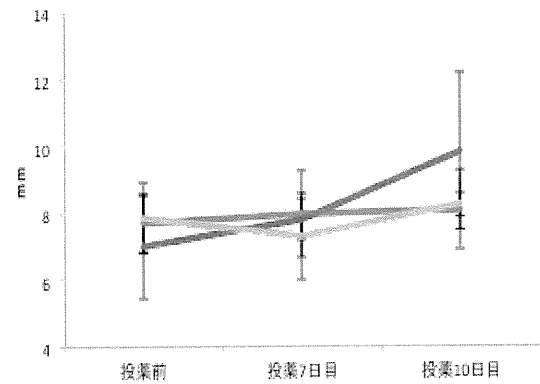


図75 投薬後の収縮期心室中隔壁厚(IVSTs)の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カルベジロール群

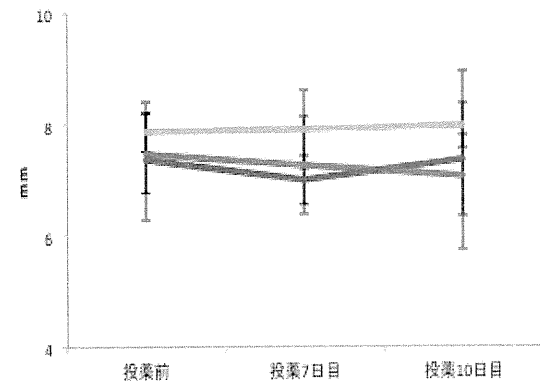


図76 投薬後の拡張期左室自由壁厚(LVPWTd)

の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラ
ビン群、緑線：カルベジロール群

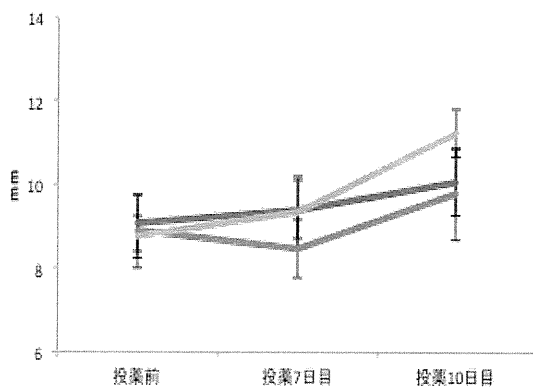


図77 投薬後の収縮期左室自由壁厚(LVPWTs)
の変動。青線：コントロール群、赤線：ビダラ
ビン群、緑線：カルベジロール群

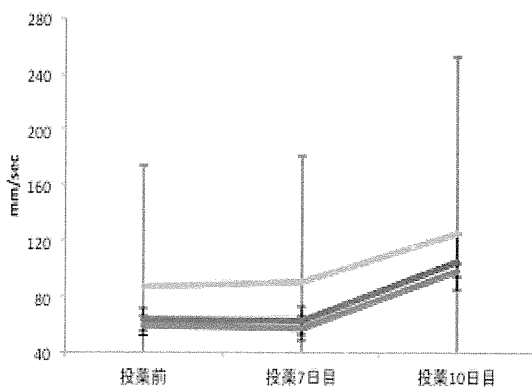


図78 投薬後の肺動脈流速の変動。青線：コン
トロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カル
ベジロール群

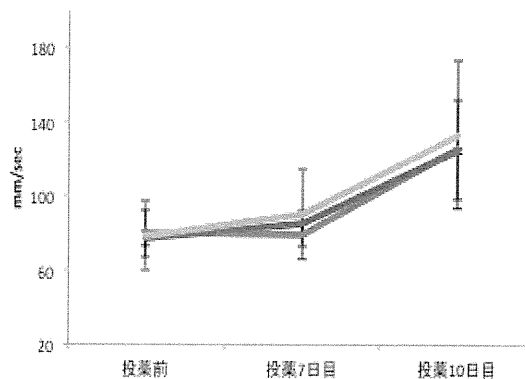


図79 投薬後の大動脈流速の変動。青線：コン
トロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：カル
ベジロール群

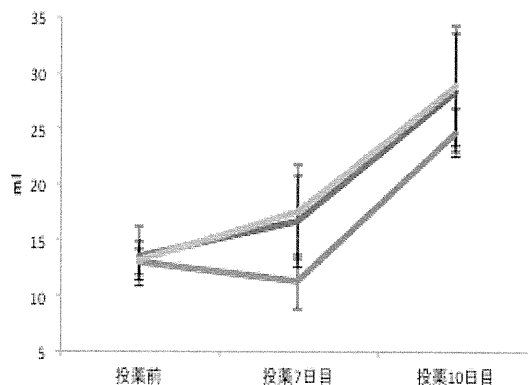


図80 投薬後の1回拍出量(SV)の変動。青線：
コントロール群、赤線：ビダラビン群、緑線：
カルベジロール群

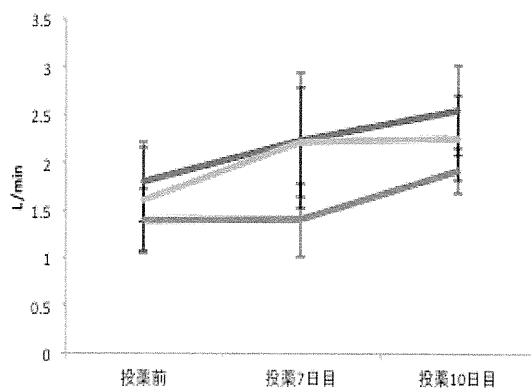


図81 投薬後の心拍出量(CO)の変動。青線：コ